

4. 志津学区の課題

- ・志津学区では人口が増加しており、今後もその傾向は続く予測されています。一方で、市内他学区と比較すると高齢化の進展は緩やかであるものの、今後は高齢化が進んでいくと予測されています。こうした中、高齢者をはじめ、地域で生活するすべての人々が、安心・快適・便利に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指し、次の3つの視点から志津学区の課題を整理します。

生活環境

- ① 志津学区は、生活利便施設の学区全体の充足度は高い状況となっています。しかし、施設は中心市街地に近い地域ほど多く立地しているため、学区内において地域差があることから、新しくオープンする志津まちづくりセンターを中心とした生活拠点の形成を図ることが重要です。
- ② 人口の増加が予測され、他学区に比べると高齢化の進展は緩やかではあるものの、地域コミュニティの維持は重要な課題であることから、新しくオープンするまちづくりセンターの利用を促進するとともに、周辺施設等の利活用を検討することが重要です。

交通環境

- ③ 学区内を南北に走る主要地方道大津能登川長浜線には、基幹的公共交通の路線バスが走っており、交通環境は比較的充実しているが、バス交通空白地・不便地も多いことから、これらの地域の交通環境の充実が必要です。
- ④ 学区内を通っているバス路線を利用しやすくし、地域住民の移動手段を確保するため、バス停にサイクル&バスライド等の整備を行い、自転車等でのアクセス利便性の向上を図ることが重要です。

地域資源

- ⑤ 志津学区の南東部には農地が広がり、今後は基盤整備が予定されており、農業における生産性の向上や担い手育成を図るとともに、生産者との連携等により、地域の活性化が重要です。
- ⑥ ロクハ公園は市内外から年間約 80,000 人程度の来客があり、賑わいを創出しています。このことから、ロクハ公園の利活用を検討し更なる地域振興を図ることが重要です。
- ⑦ 志津学区には市内でも数少ない里山や豊かな自然環境が残されています。このことから、里山を中心に関係する機関と連携しながら、地域の活性化を図ることが重要です。

5. 基本方針と具体的な施策メニュー

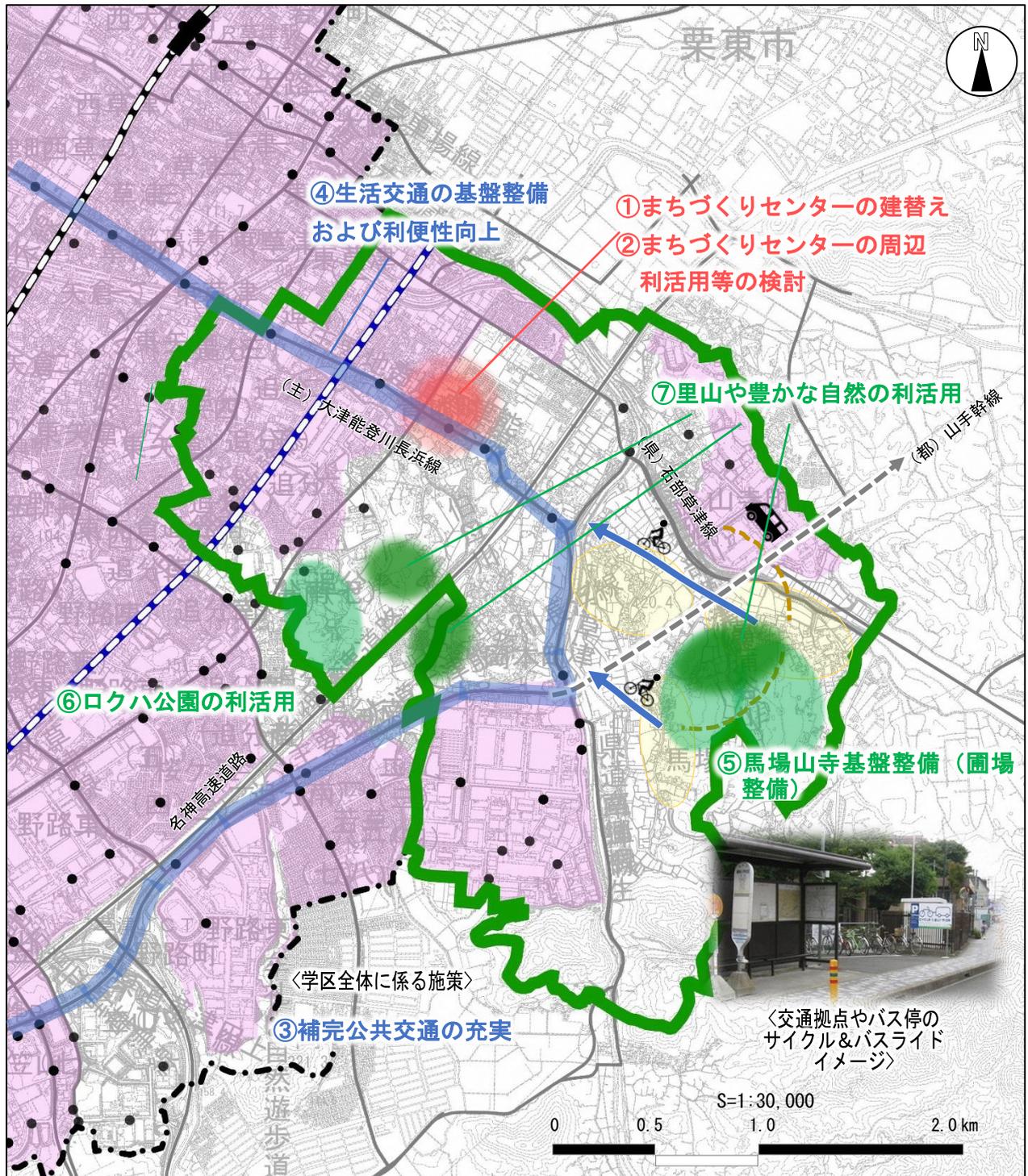
・草津市版地域再生計画における志津学区の将来ビジョンを更に具現化するため、生活拠点・交通環境の充実をはじめ、農水産資源・観光資源などの地域資源をより効果的に活かす施策を推進します

【志津学区の地域再生を具現化する推進計画】

★・・・市事業 ●・・・民間事業 ○・・・協働事業 ■・・・県事業（要望）

基本方針	将来ビジョン (草津市版地域再生計画)	番号	施策	施策内容	志津学区まちづくり計画との連携 (基本方針)	施策の実施主体				短期計画(第1期)			
						市 (担当課)	民間 【役割】	地元 【役割】	県	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
I 生活拠点の形成	地域の生活利便性の向上や地域コミュニティの維持を支える生活拠点の形成を目指します。	①	まちづくりセンター建替え	まちづくりセンター改築および進入路拡幅を行い、今後、地域住民の利便性向上のため、まちづくりセンターを中心とした生活拠点の形成を図れるよう調整を行う。	・楽しい自治コミュニティのあるまち	○ (まちづくり協働課)	○ 【進入路拡幅】	○ 【施設活用方法の検討】		★新まちづくりセンターオープンおよび解体・駐車場整備 ●進入路拡幅	○まちづくりセンターの拠点化		
		②	まちづくりセンターの周辺活用等の検討	地域住民の生活拠点の一つである、まちづくりセンターの利用を促進し地域コミュニティの維持を図るため、まちづくりセンター周辺の利活用について検討を行う。	・楽しい自治コミュニティのあるまち	○ (まちづくり協働課)		○ 【周辺環境利活用の検討】		○周辺環境の調査、検討			
II 交通環境の充実	基幹的公共交通や“まめバス”等の補完公共交通の充実を図り、区域内や区域と“まちなか”を結び利便性の高い公共交通を目指します。また、公共交通の利用がしやすい環境の整備を目指します。	③	補完公共交通の充実	バス交通空白地・不便地(特に山手エリア)における地域住民の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー「まめタク」の運行を実施するとともに、既存バス路線への乗り継ぎを考慮しながら、基幹的公共交通の利便性を高める。	・安全で安心なまち	○ (交通政策課)				★デマンド型乗合タクシー「まめタク」の運行			
		④	生活交通の基盤整備および利便性向上	生活拠点に繋がる公共交通を利用しやすくするため、主要地方道大津能登川長浜線のバス停留所にサイクル&バスライド等を整備する。	・安全で安心なまち	○ (交通政策課)		○ 【サイクル&バスライド等整備適地の検討】		★サイクル&バスライド等整備方法の検討			
III 地域資源を活かした産業の支援	志津学区に存在する様々な地域資源を活かし、実現性の高い地域振興を目指します。	⑤	馬場山寺基盤整備(圃場整備)	馬場町、山寺町における農業振興区域の農業を活性化するために、圃場整備を推進する。これにより、農業における生産性の向上や担い手の確保を図るとともに、農産物の高付加価値化を推進する。	・自然環境を活かせる楽しいまち	○ (農林水産課)		○ 【将来の地域・農業の検討】	○	■★圃場整備 ・基本設計は市 ・実施設計、工事実施は県	基本設計(市)	実施設計(県)	整備(県)
		⑥	ロクハ公園の利活用	志津学区内外および草津市外からも多くの方が訪れ、賑わいを見せていることから、ロクハ公園を利活用することで、志津学区の地域活性化を推進する。	・自然環境を活かせる楽しいまち	○ (公園緑地課) (商工観光労政課)		○ 【利活用の検討】		○ロクハ公園の利活用			
		⑦	里山や豊かな自然の利活用	志津学区に残された里山や自然環境を活かした体験学習などを通じ、地域の活性化を図るとともに、地元企業や大学などと連携した取り組みを進める。	・自然環境を活かせる楽しいまち		○ 【企業・大学との検討】		○ 【調査・検討・企画・運営】		○里山や豊かな自然の利活用		

・施策メニューを地図上に落とし込み、図-8に示すように志津学区の地域再生をイメージ化しました。



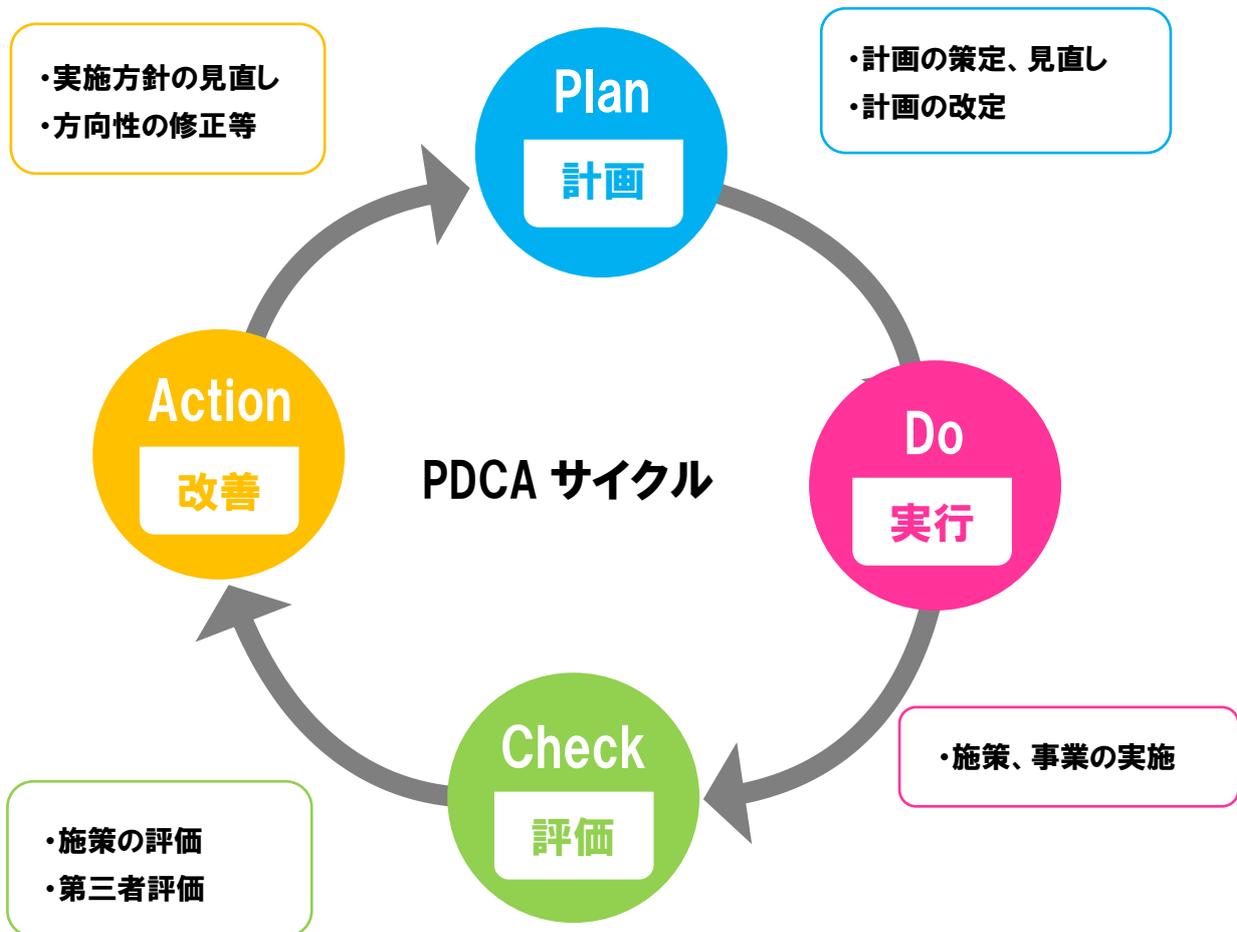
凡 例			
	学区界		生活拠点
	行政界		バス停
	主要道路		市街化区域
			交通拠点
			地域資源

◆基本方針-I	生活拠点の形成	◆基本方針-II	交通環境の充実
◆基本方針-III	地域資源を活かした産業の支援		

図-8. 志津学区 地域再生イメージ図

6. 推進計画の進行管理

- ・草津市版地域再生計画に基づく志津学区まちづくりプランは、施策に応じて市が実施する事業・民間企業が実施する事業・地域と市が協働で実施する事業・要望により滋賀県で実施する事業など、多様な主体においてそれぞれの施策を進めていきます。
- ・草津市版地域再生計画の計画期間は平成30年から令和21年までの長期的な計画であるため、まちづくりプランの計画期間（5年を目安）終了を区切りとして、取組みの進捗状況や事業の効果などについての分析・評価を行い、PDCAサイクルの考え方に基づいて修正・見直し等を行います。



7. 志津学区まちづくりプラン策定の体制・経過

(1) 検討体制

- ・志津まちづくり協議会のまちづくり計画の改定のための委員会において、検討を重ねるとともに、草津市版地域再生計画に基づくまちづくりプランを作成しました。

(2) 検討経過

	開催年月日	主な内容
第1回	令和2年7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画の改定および草津市版地域再生計画について ・SDGs（持続可能な開発目標）について
第2回	令和2年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画の改定について ・志津版SDGsについて（委員からの意見集約）
第3回	令和2年9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画の改定について ・基本方針ごとに委員によるワークショップ
第4回	令和2年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画における基本理念、基本方針、活動方針について
第5回	令和2年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画における5つの主要プロジェクトについて
第6回	令和2年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画のとりまとめ ・まちづくりプラン（案）のとりまとめ